

AI時代を主体的・共創的に 生き抜く生徒の育成

～自己調整, 創造性, 人間性に着目して～

研究主任 市村 尚史

私たちが目指すのは、変化が激しく、今後の未来も予想できない社会において、多様な他者と協働して未来を創り上げるために必要とされる資質・能力を備えた生徒を育てることです。そのために、私たちは次の点に着目し、教育活動を進めています。

1. 自己調整・・・課題に対して、自ら目標を決めたり自ら様々な方法で取り組んだりしながら、その過程や結果をしっかりと見つめ直すことができる生徒
2. 創造性・・・ものごとに大切な価値があることを証明したり別の大切な意味があることを発信したり、さらには、新しいものごとを生み出したりすることができる生徒
3. 人間性・・・人が人として大切にしなければならない道徳性や感性をもち、他者や社会に発信することができる生徒

2019年に Apple Distinguished School に認定され、ICT 先進校として効果的にテクノロジーも教育活動に生かしながら、主体的で共創的に生き抜く生徒の育成を目指します。



学習用 iPad と ICT の活用



一人一台の iPad を活用することで、一斉休業中もオンライン授業を通して、生徒の学習を保障し、生徒と学校、生徒同士をつなぐ取組を展開してきました。

令和1年度, 令和2年度卒業生進学先

卒業年度	高田		高田北城		高田農業	上越総合技術	高田商業	高田南	新井	柏崎	新潟		国際情報		その他の県内公立高校	長岡工業高等専門学校	関根学園	上越	その他県内私立高校	県外の高校等	海外の学校他	その他
	普通	理数	普通	生活文化	農業	工業	総合ビジネス	普通	総合	普通	理数	国際文化	情報科学	普通		普通	普通	普通	普通	普通		
R 2	38	11	9	2	1	0	2	1	3	0	1	0	2	0	1	3	10	6	3	11	2	1
R 1	48	15	18	1	0	1	0	1	3	0	0	0	1	3	3	1	10	5	2	9	0	0

あなたらしい学びを。

卒業生から, 保護者から



附属中学校では、高い志をもって集まってくる個性豊かな仲間たちと、語りつくせないほど素敵な時間を過ごすことができました。勉強や部活に切磋琢磨し、時にはふざけて怒られることもありましたが、どれもかけがえない思い出です。また、他の学校では経験できない本気になって追求したくなる授業や、仲間と感動を共有できる行事も附属中学校の魅力です。附属中学校で得た仲間と経験は、私の宝であり、今も私の支えとなっています。

平成29年度卒業生 小池 快知

附属中学校では古くは1980年代からコンピュータを教育に取り入れ、現在では日本のICT教育の最先端を走っております。そのような先進的な教育環境の中で、子どもたちは新しい手法や技術を、乾いた大地が水を吸い込むがごとく、自分の物にしている姿を親として見るにつけ頼もしさを覚えております。また、生徒を温かくも、時には厳しくご指導くださる先生方に全幅の信頼を置き、私たちPTAは全ての生徒がより良い学校生活を送れるように様々な形でサポートをしております。是非、歴史ある附属中学校の門をたたき、新しい一歩を踏み出していきたいと思います。

PTA会長 大谷 和弘

令和4年度 入学生徒選考検査について

- 募集要項配付 10月下旬
- 選考日 令和3年12月11日(土)
- 合格発表日 令和3年12月15日(水)
- 募集定員 男女計 105人(3学級)

上越教育大学附属中学校

〒943-0835 新潟県上越市本城町6番2号

TEL/ 025-523-5313 (教務室) 0161 (事務室)

FAX/ 025-523-3594

URL/ <http://fsportal.jhs.juen.ac.jp/>

Mail/ oujou@juen.ac.jp



上越教育大学附属中学校



確かな学力

響く歌声

あふれる探求心



2021 学校案内



この印刷物は、印刷物の端へリサイクルできます。

教育目標

民主社会の発展に寄与する、
人間性豊かな、たくましい生徒を育成する

- 1 美しいものや崇高なものに感動する心を持ち、
真理を不断に追求しようとする生徒を育てる
- 2 広い心と向上心を持ち、求めて共に実践する生徒を育てる
- 3 自ら目標を持ち、気力、体力の充実に努める生徒を育てる

附属中で描く青春の1ページ

校長 桐生 徹



本校の教育目標は、「民主社会の発展に寄与する、人間性豊かな、たくましい生徒を育成する。」である。昨年からの猛威を振るう COVID-19 に対し『学びを止めるな』を合い言葉に、本校の特徴の一つである ICT の活用により学びの場を提供している。この活動をはじめ、生徒が過ごす学校生活には、自分なりにチャレンジする機会が豊かに設けられていることで、生徒一人ひとりが自分の足で教育目標実現に向け歩むことができる学校となっている。



共に学び、共に創る365日



三密避けても、心は密に。今年度の生徒会は「心密」をスローガンとして、より良い学校づくりに取り組んでいます。新型コロナウイルス感染症が流行している今だからこそ、全校生徒が強いつながることが大切だと思います。私たちはいつでも、生徒一人ひとりの創造性を大切にしています。行事の際だけでなく、日常生活の様々な場面で、誰もが「前のめりに」活動できる附属中。そこで味わう経験や感動は、私たちの学びをより豊かにしてくれます。

生徒会長 新部 康太



目まぐるしい技術革新の中で変動する社会で創造的に生き、自分にとってのより良い生き方とは何かを探究する力を育むことにおいて附属中学校は最適ともいえる場所です。最新鋭の学習システムに加え、合唱をはじめとした伝統の継承、時代を超えた叡智によって作られた学び舎で多くのことを学び、新しい時代を作っていくのは可能性に満ち溢れた皆さんです。

3学年委員長 内田 心桜

特色ある授業

様々な体験活動と
ICT機器を活用した多様な学び

7:30	開門
7:30 ~ 8:20	登校
8:10 ~ 8:20	朝読書
8:20 ~ 8:28	朝学活
8:35 ~ 12:25	授業(午前)
12:40 ~ 13:00	昼食
13:00 ~ 13:30	昼休み
13:35 ~ 15:25	授業(午後)
15:30 ~ 15:45	※特別校時
15:45 ~ 15:50	清掃・集会
15:53 ~ 16:05	終学活
16:15 ~ 17:45	部活動
18:00	下校

※冬季は部活動の時間を短縮し、17:00 下校



附属中学校
マスコットキャラクター
ふぞくま



協力し
競い合う
部活動



上越教育大学からのサポート

■わくわく大学デー

大学の先生方による中学生向けの集中講義を行っています。
「不思議な数の世界」
「土の性質を活かしたものづくり」
「古今東西いろんな『日本語』聞きまくり」
「ファシリテーターになり、話し合いのプロを目指そう！」 など

■教育相談

大学の心理学専門の先生方から、生徒の悩みや保護者の皆様の悩みに対してアドバイスをいただくことができます。

